2025　年度　　上期

2026 年　　4 月　　20 日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	子ども食堂みんなのテーブル	
代表者名	鈴木秀子	
連絡先菊地桂子 TEL：0224-54-1228 FAX：		E-mail fragrantwhiteolive1105@gmail.com

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	子ども食堂
事業の目的	大人も子供も誰でも参加できる子ども食堂で、地域の子供達に安心できる居場所を提供すること、また、高齢者等様々な年齢の方々のしゃべり場にして、世代間交流ができる場所を作ることを目的にしています。
事業の具体的内容	毎月１回（第３日曜日）の子ども食堂開催。 カレーライスとデザートの提供。　デザートはフルーツポンチやゼリー、ババロアなどの手作りのものです。バナナやミカン、ふかし芋のときもあります。ネットワークからあんこともち米を頂いたときはお汁粉をつくりました。好評でした。 遊びの部屋も用意していて、オセロやかるたなどのゲームや折り紙、バルーンアート（ボランティアで得意な人がいる）工作、輪投げ、ダーツなど好きなことが出来るようにしています。 私達はウクレレおじさんと呼んでいるのですが、ウクレレをひきながら歌をうたい、紙芝居をしてくれるかたもいます。

活動の開始から完了までの流れ	準備は前日の午後３時から。テーブル、いす、テーブルに飾る花など会場準備とカレーライスの下準備です。玉ねぎの皮むきや米、デザートの下準備もします。 ４人のボランティアが米を持ち帰り自宅で一釜（８合）焚いてきます。当日は役員と米を炊いた人は午前８時３０分、その他のボランティアは９時集合です。 また米を４釜たき、様子をみながらその後も米を炊きます。 野菜を刻みカレーライスを作る人、お米担当の人、水や氷、カップ、おしぼり等の準備の人、受付の準備をする人など、ボランティアがそれぞれ動きまわり、１０時３０分過ぎには受け入れできる状態になります。 子どもたちは１０時ごろからやって来て、遊びの部屋であそんでいます。 １１時２０分になったら受付開始。名前、電話番号などを書いてもらい、順番に並んでカレーライスとデザートをトレーにもらい好きなところに座ってたべてもらいます。食べ終わったら食器を返却場所に返します。そのまま帰る人、おしゃべりしている人たち、子どもたちと遊んでいる人など様々です。 空いてきたらボランティアも食べます。１時３０分過ぎごろから皿洗いなど台所から片付け始め、２時過ぎにはみなさん帰るので、テーブルやいすなど本格的に片付け開始します。 ３時頃から反省会をします。３０分程で気づいたことや次回のことなど話し合い終了します。
活動の成果と教訓	子ども食堂を始めて１年４ヶ月になります。地域の方々によく知られるようになり、参加人数も増えています。リピーターも多いです。そのため、顔見知りの人も増えてきてスーパーで会うと挨拶したり、されたりしています。地域の安心できる居場所になりつつあると感じています。高齢者と子供達とボランティアの世代間交流もできる場所になっています。 教訓として、衛生管理がとても大切ということがわかりました。カレーライスの皿に髪の毛が混入していたことがありました。ボランティアが食べた皿だったので大騒ぎにはなりませんでしたが、みんなで驚き、対策を考えました。ネットの帽子をかぶる、ゴミや髪の毛が付いていないかコロコロで全身をなでることにしました。また、異物混入だけでなく食中毒対策も必要と思い、検食用として提供する食品を少量ですが冷凍保存することにしました。検便、食品衛生責任者の講習会受講なども行いました。これから暑くなります。会場にエアコンがないので、ますます気をつけていきたいと思っています。
今後の展望など	地域に浸透しつつある子ども食堂なので、これからも続けて、安心して楽しく過ごせる居場所を根付かせていきたいと考えています。

２、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	130，000	食材費の支援として
参加費	13，400	２００円×６７人分
寄付	139	
合計	143，539	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
米	６０キロ	30，000	30，000
豚肉	９月～３月の７回分	50，000	48，200
カレールウ	７８箱	10，000	16、236
野菜	たまねぎ、じゃがいも	10，000	6，952
デザート	クリスマスケーキ（３ホール）ロールケーキ、果物缶詰など	40，000	42，151
合計		140，000	143，539

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。




HAVE A GOOD ONE!




甘口



